

2007年3月期 第1四半期決算説明会

2006年8月4日
日本郵船(株)



NYKLINE
NIPPON YUSEN KAISHA

目次

- 1) 06 / 6期 決算 (P.2 - P.5)
- 2) 07 / 3期 業績予想 (P.6 - P.8)
- 3) セグメント別状況 (P.9 - P.12)
- 4) NCA (P.13)

2006年6月期 決算サマリー

1) 売上高/+22%、経常利益/-39% の増収減益 (億円)

		売上高		営業利益		経常利益		純利益	
05/6期		4,306		365		364		218	
06/6期		5,248		225		223		124	
増減	%	941	22%	-140	-38%	-141	-39%	-94	-43%

2) 海運業部門：海運業合計で 135 億円の減益

3) 非海運部門：主要3部門合計で 34 億円の増益

4) 為替・燃料油：(05/6期 vs 06/6期・期中平均比較)

為替レート 7.43円の円安 (107.28円 114.71円)

燃料油価格 \$92.29/MT高 (\$244.53/MT \$336.82/MT)

前年同期比増減分析

(億円)

円安	26	今期 114.71円 / 7.43円の円安
燃料油高	69	今期 \$336.82/ \$92.29の燃料油高
海運市況変動など	118	
非海運部門	9	うち NCA 33億円
コスト削減	28	海運 25億円、非海運 3億円
新規連結	1	物流 1億円
合計	141	

経常利益(年間)に対する感応度

為替 1円の円高で約 14 億円の減益

燃料油 \$ 1/MTの燃料油価格上昇で約 3 億円の減益

2006年6月期・前年同期比較 (セグメント別)



(億円)

売上高	定期船	その他海運	物流	ターミナル	客船	不動産	その他	消去・全社	連結
05/6月期	1,224	1,596	947	269	98	30	372	229	4,306
06/6月期	1,462	1,887	1,107	300	112	28	678	325	5,247
増減	238	290	160	31	14	2	306	96	941

経常利益	定期船	その他海運	物流	ターミナル	客船	不動産	その他	消去・全社	連結
05/6月期	64	267	20	4	3	6	4	0	364
06/6月期	39	235	33	11	12	10	39	0	223
増減	103	32	13	6	15	4	43	0	141

(売上高)	06/6	05/6	増減	増減率
不定期船	1,598	1,337	260	19.5%
タンカー	289	259	30	11.6%
計	1,887	1,596	290	18.2%

上期予想に対する達成度 (セグメント別)

(億円)

売上高	定期船	その他海運	物流	ターミナル	客船	不動産	その他	消去・全社	連結
06上期予想	2,743	3,412	2,287	582	226	61	1,331	642	10,000
第1四半期実績	1,462	1,887	1,107	300	112	28	678	325	5,247
達成度	53%	55%	48%	52%	50%	46%	51%	51%	52%
Balance	1,281	1,525	1,180	282	114	33	653	317	4,753

経常利益	定期船	その他海運	物流	ターミナル	客船	不動産	その他	消去・全社	連結
06上期予想	36	477	74	22	30	18	27	0	630
第1四半期実績	39	235	33	11	12	10	39	0	223
達成度	-	49%	45%	50%	40%	56%	-	-	35%
Balance	75	242	41	11	18	8	12	0	407

(売上高)	第1四半期 実績	06年度 上期予想	Balance	達成度	06年度 通期予想	Balance	達成度
不定期船	1,598	2,837	-1,239	56.3%	5,749	-4,151	27.8%
タンカー	289	575	-286	50.2%	1,155	-866	25.0%
計	1,887	3,412	-1,525	55.3%	6,904	-5,017	27.3%



2007年3月期 通期業績予想サマリー

- 1) 売上高 + 650億円、経常利益 350億円の修正
- 2) 海運業部門：燃料油高と定期船の運賃前提修正で減益
- 3) 非海運部門：積高予想の修正と燃料油高によるNCAの減益を主要3部門の好調で補えず
- 4) 為替・燃料油前提：
為替レート ¥110.00に据え置き
燃料油価格 第2四半期：\$370.00/MT 下期：\$365/MTに引き上げ
経常利益(通期)に対して 83億円の減益要因
- 5) 配当予想 : 年間18円配当を維持

2007年3月期通期予想

(億円)

	期初予想			今回予想			増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	10,000	10,200	20,200	10,330	10,520	20,850	330 3%	320 3%	650 3%
営業利益	610	740	1,350	440	580	1,020	-170 -28%	-160 -22%	-330 -24%
経常利益	630	720	1,350	455	545	1,000	-175 -28%	-175 -24%	-350 -26%
純利益	410	480	890	280	310	590	-130 -32%	-170 -35%	-300 -34%

為替	¥110.00	¥110.00	¥110.00	¥112.36	¥110.00	¥111.18	¥2.35	¥0.00	¥1.18
燃料油	\$330.00	\$330.00	\$330.00	\$353.41	\$365.00	\$359.21	\$23.41	\$35.00	\$29.21

為替前提 : 1Qは実績(114.71円/\$)、2 - 4Qは110円/\$
 燃料油価格前提 : 1Qは実績(\$336.82/MT)、2Qは\$370/MT、3 - 4Qは\$365/MT



2007年3月期・通期予想 (セグメント別)

(億円)

売上高	定期船	その他海運	物流	ターミナル	客船	不動産	その他	消去・全社	連結
期初予想	5,519	6,904	4,734	1,156	400	124	2,714	1,352	20,200
今回予想	5,434	7,268	4,839	1,187	424	115	3,011	1,427	20,850
上期予想	2,769	3,647	2,350	605	239	58	1,404	742	10,330
下期予想	2,665	3,621	2,489	583	185	57	1,606	685	10,520
増減	85	364	105	31	24	9	297	75	650

経常利益	定期船	その他海運	物流	ターミナル	客船	不動産	その他	消去・全社	連結
期初予想	79	1,020	171	37	10	35	2	0	1,350
今回予想	170	968	171	35	15	34	53	0	1,000
上期予想	70	441	73	16	33	20	58	0	455
下期予想	100	527	98	19	18	14	5	0	545
増減	249	52	0	2	5	1	51	0	350

(売上高)	今回予想	期初予想	増減	増減率
不定期船	6,147	5,749	398	7%
タンカー	1,121	1,155	34	-3%
	7,268	6,904	364	5%

セグメント別状況

1. 海運業 - 1)

コンテナ船: 旺盛な荷動きを背景に**運賃修復**に努める
一方、燃節など**コスト削減**に取り組む

輸送量実績(千TEU)

	05/4-6 (実)	06/4-6 (実)	増減	(%)	05/4-9 (実)	06/4-9 (予)	増減	(%)	05年度 通期(実)	06年度 通期(予)	増減	(%)
アジア 北米	163	177	14	8.6%	349	366	17	4.8%	702	756	54	7.7%
(消席率)	84%	84%			87%	87%			86%	87%		
アジア 欧州	91	124	33	35.8%	194	242	48	25.0%	403	472	69	17.0%
(消席率)	91%	93%			91%	93%			90%	92%		

自動車船: 7月より新造船投入開始、輸送力を増強

輸送台数実績(万台)

	05/4-6 (実)	06/4-6 (実)	増減	05/4-9 (実)	06/4-9 (予)	増減	05年度 通期(実)	06年度 通期(予)	増減	(%)
全航路	71	84	13	143	158	15	286	314	28	9.8%

セグメント別状況

1. 海運業 - 2)

バルク・エネルギー輸送部門の市況動向(指数)

	04年度	05年度 (実績)	06年度 期初前提	06/6期 (実績)	06年度	
					通期予想	前提比
撒積船(ケープサイズ)	100	64	50	49	57	7
撒積船(ハンディサイズ)	100	73	65	89	79	14
V L C C	100	69	60	51	66	6

撒積船 : ケープは、**長契主体の船隊拡充**により、前年比増益。

ハンディは傭船料の上昇により減益。

タンカー : V L C Cは前年並みの利益を確保するが、石油製品船マーケットは前年度を下回る。



セグメント別状況

2. 物流事業

1) NYK Logistics (陸上物流部門) : 着実な利益成長続く。

	05/1Q(実)	05/通期(実)	06/1Q(実)	06/通期(予)
経常利益	4 億円	36 億円	6 億円	74 億円
前年比	13 億円	29 億円	2 億円	38 億円

2) YAS (航空フォワーダー部門) :

海外事業の拡大により好調維持。

	05/1Q(実)	05/通期(実)	06/1Q(実)	06/通期(予)
経常利益	16 億円	94 億円	27 億円	97 億円
前年比	6 億円	0 億円	11 億円	3 億円

本表は、当社連結会計上の実績であり、YAS個別の実績とは異なります。

セグメント別状況

3. ターミナル関連事業

- 1) GA改編の影響を、荷動きの増加と他社誘致により緩和、料金改定も進み収支目標を達成。
- 2) YTI(ロサンゼルス)では、効率化により順調なオペレーションが続く。
- 3) CTE(アムステルダム)は、配船数が増え取扱高が着実に増えたものの、初期コストがかさみ、収支目標は下回る。

4. 客船事業

- 1) 飛鳥 は、5割近いキャパ増にも拘わらず満船基調。
- 2) クリスタルは、隻数の合理化効果で乗船率が向上。

NCA

NCA 06/6期実績および07/3期予想

(億円)

	06/3期 (実績)	期初 (予想)	06/6期 (実績)	07/3期(修正予想)		
				上期	下期	通期
売上高	1037	1,100	244	497	559	1,056
経常利益	104	2	39	50	6	44

- ・ アジア航路における競争激化で積高未達
- ・ 燃料油価格の上昇(足許のMOPSは、\$ 87/BLL)

により、今期業績予想を下方修正